9　外国語

指導と評価の年間計画（シラバス）

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	(通)コミュニケーション英語Ⅰ	1	第１学年	Revised　ENGLISH　NOW English communication Ⅰ（開隆堂）

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・コミュニケーション英語Ⅰ(通) は「話すこと」、「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」という４技能の力をつける授業です。そのため、聞いたり読んだりしたことを基に自分の考えなどについて話したり書いたりする活動を多く行います。授業では積極的に活動に参加しましょう。

・英語の語彙や文法については、実際のコミュニケーションでどのように使われるか、また日本語とどのよに異なるか、ということを意識して学習することが大切です。常に「異文化理解」ということを意識して学習しましょう。

・語彙・文法は外国語学習の中でとても大切です。英語の発音やイントネーションに気をつけ、他者にきちんと伝わるような英語表現を心がけましょう。

2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第１学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅰ」（３単位）及び「英語表現Ⅰ」（２単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目･評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目･評価
・英語の独特な発音のルールに慣れて、初見の単語でも、簡単なものは予測して、発音することが出来る。 ・be 動詞、一般動詞、助動詞を使って 10 文以上の自己紹介が出来る。 ・自分以外の人物や物について be 動詞、一般動詞、助動詞を使って 10 文以上で紹介出来る。 ・日常的なあいさつができ、身の回りで起こったことや経験したことなどについてやり取りをすることができる。	小テスト 授業態度 定期考査	・アルファベット、ヘボン式ローマ字を正しく書くことが出来る。 ・数、曜日、月、季節に関する単語を書くことが出来る。 ・be 動詞、一般動詞、助動詞を使って 10 文以上の自己紹介が書ける。 ・自分以外の人物や物について be 動詞、一般動詞、助動詞を使って 10 文以上で書くことが出来る。 ・5W1H を使って質問やクイズを書くことが出来る。	小テスト 授業態度 定期考査	・聴こえた簡単な単語のつづりを、フォニックスのルールを使ってある程度書くことが出来る。 ・簡単な文が発音される時の、リンキングや脱落について、ある程度予測して、自分の知っている単語や文に置きかえることが出来る。 ・ゆっくり話された 10 文程度の簡単な英文の内容を把握することが出来る。 ・ゆっくりはっきりと話されれば、外国の文化・風習など、なじみのないことでもその概要を理解することができる。	小テスト 授業態度 定期考査	・自分以外の人物や物について be 動詞、一般動詞、助動詞、過去形などを使った 10 文以上の紹介文を読むことが出来る。 ・簡単な語や表現を使って書かれた短い物語や伝記などを理解することができる。	小テスト 授業態度 定期考査

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	異文化の言語に関心をもち、積極的に授業内での活動を図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	既知の語彙や文法を身に付けその背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

単元(配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 1 (1時間)	アルファベット･ヘボン式ローマ字	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・意欲的にワークシートを書こうとする	・ワークシートを利用してアルファベットやローマ字を練習する。	・机間巡視を行い観察する。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・アルファベット・ローマ字で自分の姓名や既知の単語を書く。	・ワークシートを用いて、アルファベットとローマ字を練習する。	・アルファベット・ローマ字で自分の姓名や既知の単語を書くことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・アルファベット・ローマ字を理解する。	(本単元では設定しない)	・アルファベット・ローマ字を理解することができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・アルファベット・ローマ字で自分の姓名や既知の単語を書き多言語を理解する。	・ワークシートを用いて、アルファベットとローマ字を練習する。	・アルファベット・ローマ字で自分の姓名や既知の単語を書き多言語を理解することができる。	・ワークシートを提出させ、定期テストの筆記テストにおいて理解できているか判断する。
Lesson 2 (1 時間)	be 動詞の文	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・意欲的にワークシートを書こうとする。	(本単元では設定しない)	・机間巡視を行い観察する。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・be 動詞を使って簡単な自己紹介をする。	・ワークシートを利用して、人称や be 動詞の種類を学習する。	・be 動詞を使って簡単な自己紹介ができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。

		「外国語理解の能力」			
		・be 動詞を聞き分ける。	・音声を聞いて be 動詞を聞き分ける。	・be 動詞を聞き分けることができる。	・リスニングテストを行う。 ・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・be 動詞を使って自己紹介文、既知の英単語を使って比較的簡単な英文をつくる。	・ワークシートの内容を確認しながら be 動詞を理解する。	・be 動詞を使って自己紹介文、既知の英単語を使って比較的簡単な英文をつくることができる。	・ワークシートを提出させ、定期テストの筆記テストにおいて理解できているか判断する・
Lesson 3 (1 時間)	一般動詞の文	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・意欲的にワークシートを書こうとする。	（本単元では設定しない）	・机間巡視を行い観察する。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・一般動詞と、この単元で学んだ語句や表現を用いて、比較的簡単な英文を書く。	・ワークシートを利用して、一般動詞の働きや英文の仕組みを理解する。	・一般動詞と、この単元で学んだ語句や表現を用いて、比較的簡単な英文を書くことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・ワークシートを通して英文の構造を理解する。	・ワークシートを利用して、一般動詞の働きや英文の仕組みを理解し、読むことができる。	・ワークシートを通して英文の構造を理解することができる。	・定期考査の筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・一般動詞の使い方を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・一般動詞の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 4 （1 時間）	3 人称単数現在形の文	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・意欲的にワークシートを書こうとする。 ・疑問などがあれば意欲的に発言しようとする。	（本単元では設定しない）	・机間巡視を行い観察する。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・ワークシートの人称についての説明を読んで、例文を示しながら説明し、表現の違いを理解し英文を書く。	・ワークシートを利用して、3 人称単数現在形の働きや英文の仕組みを理解し、音読することができる。	・ワークシートの人称についての説明を読んで、例文を示しながら説明し、表現の違いを理解し英文を書くことができる。	・音読活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する

		「外国語理解の能力」			
		・３人称単数現在形について、例文を示しながら説明していることについて理解する。	・ワークシートを利用して、３人称単数現在形の働きや英文の仕組みを理解することができる。	・３人称単数現在形について、例文を示しながら説明していることについて理解することができる。。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・３人称単数現在形の使い方を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・３人称単数現在形の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 5 （１時間）	助動詞の文	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・意欲的にワークシートを書こうとする。 ・疑問などがあれば意欲的に発言しようとする。	本単元では設定しない）	・机間巡視を行い観察する。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する
		「外国語表現の能力」			
		・ワークシートの助動詞についての説明を読んで、例文を示しながら説明し、表現の違いを理解し英文を読むことができる。	・ワークシートを利用して、助動詞の働きや英文の仕組みを理解し、音読することができる	・ワークシートの助動詞についての説明を読んで、例文を示しながら説明し、表現の違いを理解し英文を読むことができる。	・音読活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する
		「外国語理解の能力」			
		・助動詞について、例文を示しながら説明されていることについて理解する。	・ワークシートを利用して、助動詞の働きや英文の仕組みを理解することができる。	・助動詞について、例文を示しながら説明されていることについて理解することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・助動詞の使い方を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・助動詞の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 6 （１時間）	疑問詞を使った文	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・意欲的にワークシートを書こうとする。 ・疑問などがあれば意欲的に発言しようとする。	本単元では設定しない）	・机間巡視を行い観察する。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する
		「外国語表現の能力」			
		・ワークシートの疑問詞についての説明を読んで、例文を示しながら説明し、表現の違いを理解し英文を書くことができる。	・ワークシートを利用して、助動詞の働きや英文の仕組みを理解し、英文を書く。	・ワークシートの疑問詞についての説明を読んで、例文を示しながら説明し、表現の違いを理解し英文を書くことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する

		「外国語理解の能力」			
		・疑問詞について、例文を示しながら説明されていることについて理解する。	・ワークシートを利用して、疑問詞の働きや英文の仕組みを理解することができる。	・疑問詞について、例文を示しながら説明されていることについて理解することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断る。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・疑問詞の使い方を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・疑問詞の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。